

**概況**

令和8年1月に発生した事故についてお知らせします。

★工事関係者等事故（死亡0件、傷害4件）

- ・傷害事故が4件発生しました。事故になる前にみんなで安全確保を行いましょう。
- ・発電機室扉が強風にあおられ閉まったため、指が挟まれ、差指骨折等の大けが。
- ・昇柱時に胴綱フックが腰ベルトに掛かっていなかったため墜落、尾てい骨を骨折。
- ・ポンプシャフトを台座のまま移動中、台座が傾きシャフトが倒れ、挟まれた薬指を骨折。
- ・資材を2人で台車移動中、前の作業者が手を離したため台車が足に当たり打撲。

★公衆事故（死亡0件、傷害0件、物損5件）

- ・物損事故が5件発生しました。ちょっとした思い込みが事故につながります。
- ・地下埋設水道管破損、2件。（2月にも発生しています。）
- ・バックホウ旋回時に建物接触と架空線断線、2件。
- ・強風で飛散した工事看板が通過車両に衝突、1件。

～「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！～

今回は、過去のA-press(令和5年7月号)を紹介します

メッシュタイプのスリム看板で
強風時の飛ばされを回避

好事例は引き続き紹介します。アイデア募集中！

A-pressについて

『A』は、ずばり安全（Anzen）の“A”
『A』は、アルファベットの最初の文字
工事等に当たり、安全は最も優先されます。
安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していきます。

～ヒヤリ・ハット事例～ (事故には至らなかったがヒヤリ、ハッとした事例)

- 1 強風のためクレーン作業を中断したが、安全なジブ（アーム）角度で待機しなかったため、風にあおられた。
- 2 足場の固定があまかったので、強風で板がズレて飛ばされそうになった。
- 3 強風で扉が強く閉ましたが、扉枠の外に手があったため難を逃れた。

強風はいろんな事故原因をはらんでいる

～安全ひろば～ 急かば回れ、遠回りでも確実に地下埋設物確認

情報共有と「かもしれない目視」がカギ

地下埋設事故防止は、事前調査と
情報共有（図面確認、管理者との協議）、
慎重な手順（手掘り範囲の明確化、重機の制限）、
立会い（慎重な**目視確認**、一人作業禁止）
が重要です。

地下埋設物の種類（情報確認する相手）

- ・ガス（ガス事業者）
- ・上水道（水道事業者）
- ・下水道（市町等担当課）
- ・電力（電力会社）
- ・通信ケーブル（通信事業者）
- ・敷地内（所有者、管理会社）
- ・工業用水、農業用水

※静岡県地下埋設物の事故防止マニュアルに従って対策してください。



安全対策に関する情報をください。

(工事検査課担当 近藤:054-204-1163)